

令和7年6月10日

国土交通大臣 中野 洋昌 様

埼玉県知事 大野 元裕
さいたま市長 清水 勇人

核都市広域幹線道路の事業推進に関する要望

核都市広域幹線道路は、圏央道と東京外環道の間に並行するように位置しており、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県を相互に連絡し、これらの交流・連携を促進する広域道路ネットワークとして計画された道路です。

埼玉県の圏央道以南地域においては、東西方向の幹線道路で速度低下が顕著であり、交通容量の不足、慢性的な交通渋滞が発生しております。

核都市広域幹線道路は、首都圏の広域的な環状道路を形成するとともに、広域防災拠点であるさいたま新都心を経由することから多重性・代替性のあるネットワークの確保が可能となり、首都機能をバックアップする防災機能の強化がなされ、救援活動や物資輸送にも大きな効果が期待できます。

こうした状況を踏まえ、慢性的な混雑を改善し、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るとともに、中核中核都市の経済・生活圏を相互に連絡し、これらの交流・連携を促進する核都市広域幹線道路の整備は、東京都心部を迂回する広域幹線道路として、首都圏の交通混雑の緩和にとって

必須であります。

このような中、令和3年には、関東ブロック新広域道路交通計画において関越道から東埼玉道路までの区間が高規格道路の調査中路線に、関越道以西及び東埼玉道路以东については構想路線に位置付けられるとともに、埼玉県東西軸道路検討会において埼玉新都心線から東北道付近までの区間を優先的に概略計画の検討を進めることとなっております。さいたま市の東部地域では、地下鉄7号線の延伸実現に向け、令和7年度中に浦和美園駅から岩槻駅間の鉄道事業者への事業実施要請を目指すとともに、中間駅周辺のまちづくりや新たな産業集積拠点の整備などが計画されております。

また、大宮～さいたま新都心～浦和美園間では、東西交通大宮ルートによる新たな交通システムの検討、新幹線6路線等が乗り入れる大宮駅の周辺地区では大宮駅グランドセントラルステーション化構想や大宮駅西口交通結節点事業計画((仮称)バスタ大宮)、核都市広域幹線道路が東西方向に延伸された際には、高規格道路の自動運転など、高度な道路利用の可能性も秘めております。

関越道から東埼玉道路までの区間については、ルートの決定に向けた検討が進められているところであり、沿線地域の成長と発展、地域の賑わい創出、大規模災害発生時のリダンダンシー確保など、地元一同、一日も早い事業化に向けて大いに期待しております。

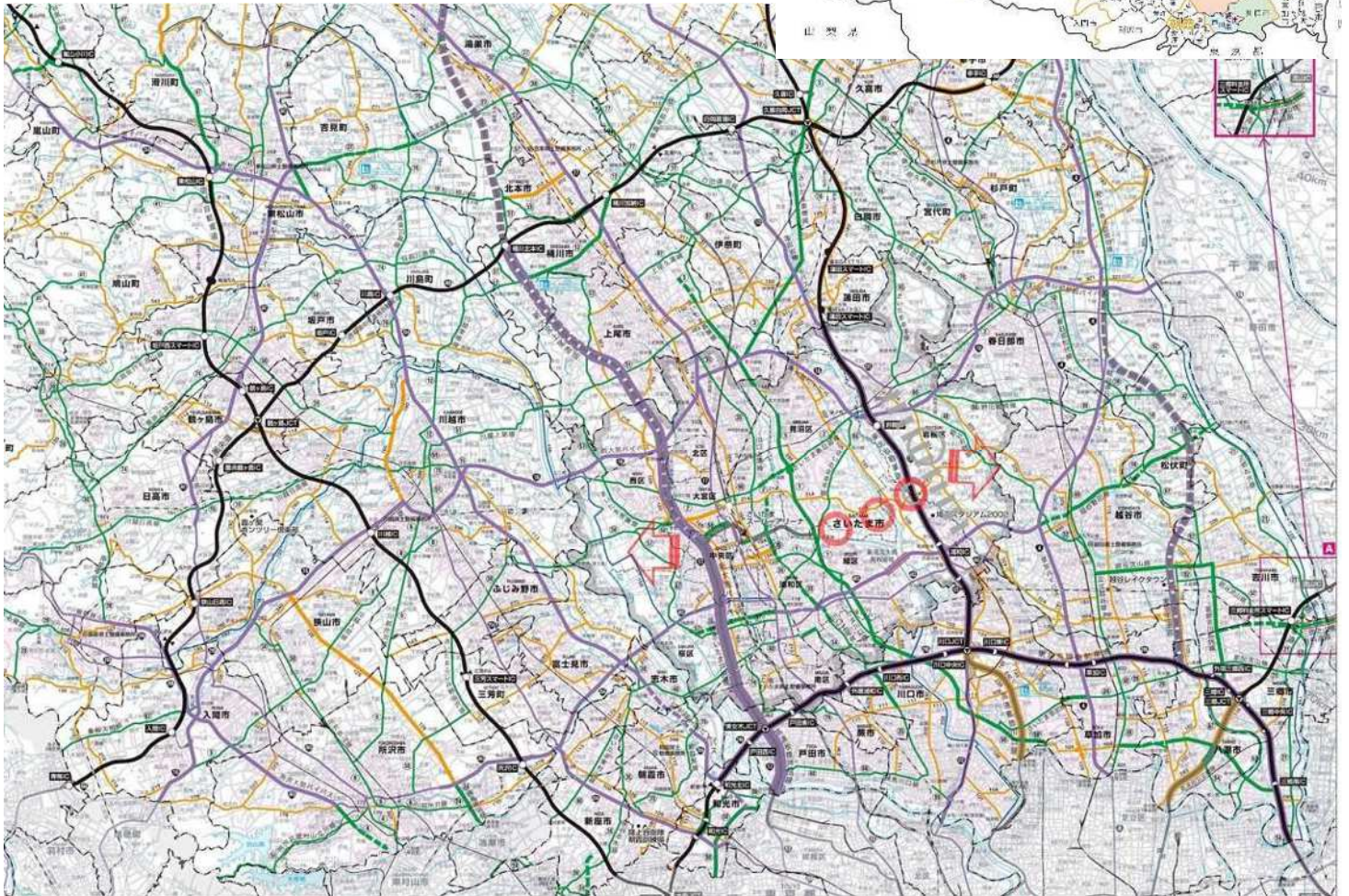
つきましては、核都市広域幹線道路の計画の早期具体化が図られるよう、沿線市町と連携して取り組んでまいりますので、次の事項について、特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 核都市広域幹線道路の埼玉新都心線から東北道付近までのルート帯案を早期に公表し、概略計画の検討を推進すること。
- 道路の整備においては有料道路事業制度の活用やコスト縮減により、可能な限り公共負担の軽減を図ること。
- 核都市広域幹線道路及び地下鉄7号線延伸計画の手続きを同時期に進め、地域開発の発展に向けた相乗効果が最大限に発揮されるよう、事業を推進すること。

核都市広域幹線道路の事業推進について

埼玉県・さいたま市



核都市広域幹線道路の事業推進について

埼玉県・さいたま市

